

さやま維新 政治塾 塾生紹介



塾生
うえだに
上谷 元忠

「さやま維新塾に学んで」

■大阪狭山市の近年の財政事情や一般会計の執行状況について議論をし、「大阪狭山市の財政事情は、新生児の急減と高齢者が急増する現実から、10年後、20年後、決して楽観できる状況ではないこと。

■やれるところはなんでもする。行財政改革の推進・・・いろんなところで、無駄を省くのは当然として、率先垂範の観点から、市特別職の退職金の大幅カットや議員歳費・定数の削減、給与の適正化。また、子育て等重点項目にメリハリのつけた予算編成へ。

■その他、「大阪狭山市は今から、どうあるべきか」とテーマを決めて、日々研鑽に励み、自らの、スキルアップを目指す覚悟です。



塾生
いはら
伊原 和美

さやま維新政治塾で研修し、早や2年が経ちました。「まち大」の講義で感銘を受けた私は「子どもの安全見守り隊」と「傾聴さやま」のボランティアをしていました。4世代の大家族の中で育った私にとっては、「地域はファミリー」でありがたい場所でした。しかし、政治塾で学ぶうちに、視点が変わってきました。子どもたちの通学路の危険箇所が目にとまるようになり、安全性についても様々な考えがあることに気付きました。これからは、「福祉」についてもっと学び、私自身の仕事に活かしていきます。折角(おいでませ長州・山口から)さやまに嫁いできたのですから、第2のふる里を子ども達やお年寄りが笑顔でいられる狭山であるように、私は笑顔で学び続けます。



塾生
かとう
加藤 浩樹

皆さんは三十年後の大阪狭山市がどういう姿になっているか想像できますか？

私の思い浮かべる姿は大阪狭山市が世界でも有数の学園都市になっている姿です。幼保～高校まで幼小中高一貫の公立のインターナショナルスクールを大阪狭山市に設立して、近隣地域だけに留まらず、国内全域からこの学校に通わせる事を希望し、人が集まり、老若男女の明るい声が狭山池に造った浮島の公園から聞こえてくる。そんな都市を思い浮かべます。

三十年後は、確実に周りの環境は変化し、自分自身も年を老い、変化していきます。十年後と三十年後の未来がよりはっきりと繋がり、それを心地よいものとする為に、今皆さんと一緒に行動したい。それが私の思いです。



塾生
おおつぼ
大坪 了

「私には夢がある」とマーチン・ルーサーキング・ジュニア牧師は云われました。私にも大きな夢があります。孫たちの世代の世界の子ども達が生まれきて良かったと思える社会になってほしい。中央集権的地方政治を地方分権に方向転換すべく、1947年憲法第92条により制定されはや66年以上経ちます。議会は、為政者の暴走を防ぎ、行動を牽制するための監視機関として発達してきたのです。首長、議員が直接選挙で選ばれる二元性になっているのは、議員は民意を代弁・反映する事を憲法が期待しているのではないのでしょうか。二元性を最大限に活用し、議員、住民それぞれが努力していかなくてはと、つくづく思います。

こんな大阪狭山市になってほしい。

- 1) 安心・安全な通園、通学路の確保
- 2) いじめ・登校拒否のない学校生活
- 3) ヨーロッパに見られるような市民広場の整備

皆様の「声」を
お待ちしております

さやま
維新の会 塾生・会員募集!!

さやま維新の会

e-mail ☒ : sik@iris.eonet.ne.jp

ブログ更新中 「Kaz の近況と心情」

<http://kenxiaoping.seesaa.net/>